

2015.12.7

# 細胞シート、治験入りへ

## セルシート 食道狭窄防ぐ再生医療

2015.12.7  
ジャスタック上場のバ  
イオベンチャー、セルシ  
ードは2016年から

細胞シートを使った再生  
医療製品の臨床試験（治  
験）を始める。食道がん  
（うきがん）を予防する製

品で、医薬品医療機器総  
合機構（PMDA）に治  
験届を提出した。

同社が日本で再生医療  
製品の治験に入るのは初  
めて。今後、欧州でも開  
発を進める計画だ。

東京女子医科大学の細  
胞培養技術を使った「食  
道再生上皮シート」の治  
験を実施する。セルシ  
ードの橋本せつ子社長は4  
日の記者会見で「早い段

階で承認を得て、患者に  
届けるようにしたい」と  
話した。厚生労働省への  
製造販売の承認申請は17  
年末ごろを見込む。

細胞シートは、食道が  
ん患者の口の中の粘膜か

ら細胞を採取し、温度に  
よって性質が変わる「温  
度応答性ポリマー」と呼  
ばれる素材を使った培養  
皿を使って作製する。

食道がんの治療では、  
内視鏡で切除する手術が  
普及しつつあるが、広く  
組織を切除すると、食道  
が狭窄することがある。  
細胞シートを移植すれば  
傷の治りを早め、狭窄の  
抑制が見込めるといふ。